

(在韓大仮訳)

<2017年8月17日 食品医薬品安全処発表>

* 検出された物質について、安全性について解説しているものです。

安全性資料

フィプロニル(Fipronil)

(毒性)

ラット慢性発がん性試験において、神経毒性及び肝臓への影響を観察。遺伝毒性はなく、ラットに特異的に甲状腺がんが報告されたが人体に対する発がん蓋然性はなし。

* アメリカ環境保護庁(EPA)は、人体発がん性物質グループCに分類
(グループC:人体での発がん資料がなく、動物で発がん性に対する限定的証拠がある場合)

(人体露出安全基準、ADI)

毎日生涯曝されても、安全な安全基準は0.0002 mg/kg b. w. /dayであり、これは、成人(60kg)では、一日0.012 mg/day水準

* 急性毒性参考値(ARfD):0.009 mg/kg b. w.

ビフェントリン(Bifenthrin)

(毒性)

ラット発達毒性試験において、けいれん症状等の神経毒性影響を観察。生殖、遺伝毒性はなし。マウスの発達毒性試験でマウス特異的膀胱がんの発生が観察されたが人体発がん蓋然性なし。

* アメリカ環境保護庁(EPA)は人体発がん性物質グループCに分類
(グループC:人体での発がん資料がなく、動物で発がん性に対する限定的証拠がある場合)

(人体露出安全基準、ADI)

毎日生涯曝されても、安全な安全基準は0.01 mg/kg b. w. /dayであり、これは、成人(60kg)では、一日0.6 mg/day水準

* 急性毒性参考値(ARfD):0.01 mg/kg b. w.

フルフェノクスロン(Flufenoxuron)

(毒性)

ラット急性毒性試験において、毒性が低いとされた。(刺激性及び敏感性、神経毒性、遺伝毒性、発がん性なし)

(人体露出安全基準、ADI)

毎日生涯晒されても、安全な安全基準は 0.037 mg/kg b. w. /day であり、これは、成人(60kg)では、一日 2.22 mg/day 水準

* 急性毒性参考値 (ARfD) は設定されていない。

エトキサゾール(Etoxazole)

(毒性)

ラット毒性試験において、急性毒性は低く、遺伝毒性・発がん性はなく、肝毒性が現れる。

(人体露出安全基準、ADI)

毎日生涯晒されても、安全な安全基準は 0.04 mg/kg b. w. /day であり、これは、成人(60kg)では、一日 2.4 mg/day 水準

* 急性毒性参考値 (ARfD) は設定されていない。

ピリダベン(Pyridaben)

(毒性)

急性毒性が経口吸入経路で現れ、皮膚には現れない。体重増加を抑制し、発がん性及び遺伝/神経/生殖毒性はなし。

(人体露出安全基準、ADI)

毎日生涯晒されても、安全な安全基準は 0.005 mg/kg b. w. /day であり、これは成人(60kg)では、一日 0.3 mg/day 水準

* 急性毒性参考値 (ARfD) :0.05 mg/kg b. w.